

平成22年度 学校評価実施報告書

このとおり、学校評価を実施したので報告します。

高松市立前田小学校 校長 岡 静子 印

1 自己評価

実施年月日	評価者	備考
平成22年10月1日	全教職員	中間評価
平成23年1月28日	全教職員	年間評価

2 学校関係者評価

(1) 実施年月日

実施年月日	評価者	備考
平成22年10月7日	学校評議員	
平成23年2月4日	学校評議員	

(2) 関係者評価委員会名簿

番号	評価委員氏名	所属等	備考
1	溝渕 芳市	学校評議員	
2	香西 清隆	学校評議員	
3	鈴木 隆清	学校評議員	
4	廣瀬 一哉	P T A会長 (学校評議員)	
5	佐々木 茂	協和中学校校長	
6			
7			

このとおり、学校評価について報告いたします。

高松市立前田小学校 校長 岡 静子 印

	評価項目	評価 (4段階)	自己評価結果と改善方策等	学校関係者評価結果および意見等
1	信頼される学校に関すること (開かれた学校, 教職員の資質向上等)	4	教師に関する保護者アンケートでは、授業や生徒指導について95%以上の肯定的な評価を頂いた。学習参観や学習成果の発表にも力を入れたり、地域行事への参加や讃岐学園との連携に励んだりしたことも好評価であった。	保護者から教師への評価が高いことはすばらしい。その信頼関係の中でよい子が育っていくと考える。
2	確かな学力と主体的な学びを生む場の実現に関すること	3	自校作成の評価基準表を基に、学力の定着をめざした。国語・算数では、昨年より6%の児童が向上しているという値が出たが、ドリル学習以外にも音読や視写など基礎学力の定着をめざした時間を確保していく必要がある。	一斉授業では学習についていけない児童が多いことは今後の課題であり、指導方法を工夫してほしい。6%の向上はよいことだが、頑張っている児童をほめてさらに伸ばしてほしい。また、保護者にも知らせることで連携を一層深めるとよい。
3	少人数指導（少人数学級）に関すること	4	アンケートでは、児童も保護者も個に応じた指導の満足度は95%を超えている。算数テストでは、68.5%の児童が80%以上の正解を出せたので、今後も指導を充実させたい。	児童と保護者が一緒に活動したり話し合ったりするふれあい活動を充実することで、我が子の成長や課題をしっかりとらえられるような啓発をこれからも行ってほしい。
4	道徳教育の充実に関すること	3	相手の気持ちを考えることを大事にできると答えた児童が67.6%である。「心のノート」の活用は今年もできた。SSTの授業を年間計画に位置づけて、コミュニケーションスキルを高めていく指導を継続していきたい。	読書は読解力を伸ばし、基礎学力の定着に左右する。図書館支援員の配置を充実させ、読書が好きな子どもをさらに育ててほしい。
5	時代の変化に対応した教育に関すること	4	ICT機器の活用状況は90%。情報モラルに関する正しい知識をもつ児童は90.2%。本年度活用基準を上げたが、教員研修の充実を図り、実践につなげたい。	体力が全国平均よりよいことは評価できる。自分に自信をつけて、粘り強く取り組める子どもを育ててほしい。
6	学校図書館教育に関すること	4	年間読書目標の達成率は62.2%で読書を進んで行う児童は増えている。読み聞かせやお話会が有効であった。図書室の整備を行い、読書意欲を喚起していきたい。	家庭学習がきちんとできるように、指導を工夫し、保護者と連携して取り組んでほしい。
7	自己指導能力を育てる生徒指導に関すること	3	「あいさつ」や「朝ごはん」の到達率は90%以上になったが、早寝ができていない児童が中学年で増加した。定期的なチェックカードの実施と指導によって改善していきたい。	
8	人権教育に関すること	3	人権・同和教育の研究指定を受け、児童の自尊感情を高めるための取組を進めることで、人権意識は高まってきている。アンケートでは、保護者も児童も昨年より肯定的な回答が増えている。学級全体のなかま意識を高めていくために、日常の課題を丁寧に解決する実践を積み重ねていきたい。	
9	健康・安全教育に関すること	4	万歩計測定による目標達成者は55.5%、体力テスト・全国平均以上の児童が50.9%で、昨年度より向上している。なわとびによる体力づくりやパワーチャレンジを継続するとともに、保健便りによる健康指導にも進んで取り組みたい。	
10	特別支援教育に関すること	3	個別指導計画の目標項目に対する達成率が80%以上の児童が70%と昨年よりさらに向上した。個々の目標を洗い出し、各個人の指導計画を見直していきたい。	
11	その他（特色ある教育など）			